その意見で「何を失うか」を見よ。

伝えた人の覚悟が透けて見える、フィードバックの真髄

Based on insights from Gemini Notebook

「お前は雑だ！」



厳しい言葉をぶつけられた時、
私たちは痛みを感じる。

腹が立ち、認めたくない気持ち
が湧き上がる。

そして無意識のうちに、脳内で
「ある作業」を始めてしまう。

Gemini Notebook

言葉の「希釈」メカニズム

「雑さを改めろ」

「取り組み方を変えろ」



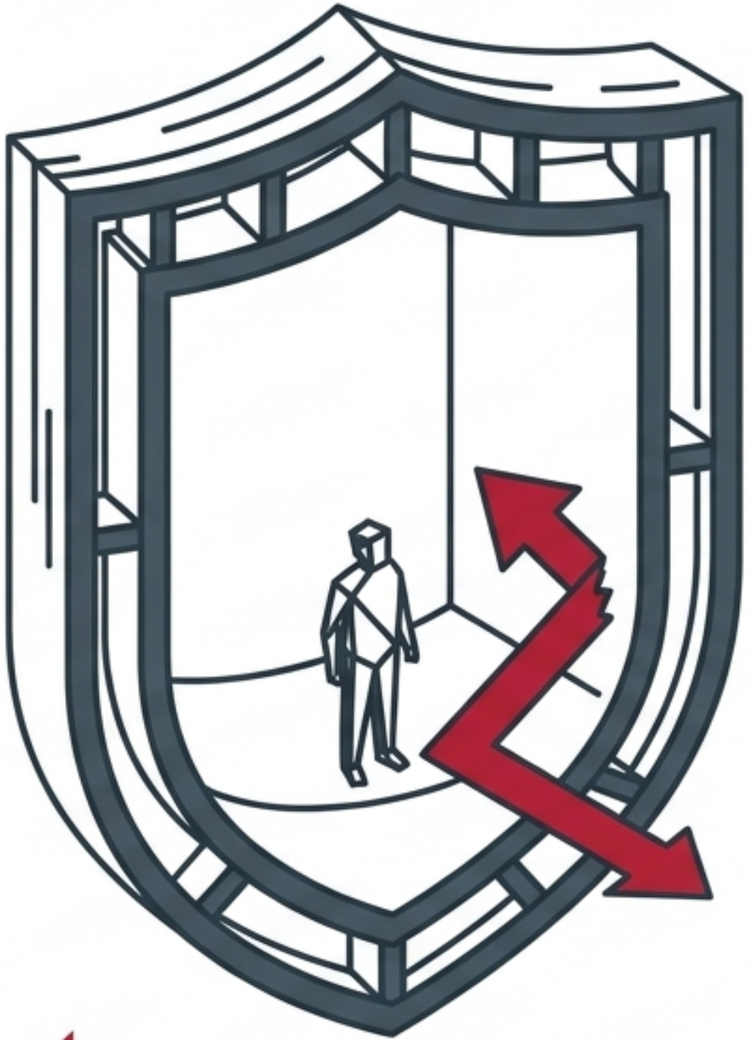
「たまに雑になるから
気をつけよう」

「今のまま、
もっと頑張ろう」

**私たちは、自分が安心できる物語
へと、言葉を作り替えてしまう。**

Gemini Notebook

希釈の代償



助言を受け入れた
「つもり」。

しかし実際は、
変えるべき自分を
守っているだけだ。

「今の自分で大丈夫」という物語に書き換えることは、上達の機会を捨てることと同義である。

Gemini Notebook

視点の反転



厳しい言葉を受け取った側の
「痛み」には敏感だ。

しかし、伝えた側が
引き受けた「痛み」を
見落としてはいないか？

Gemini Notebook

伝え手のリスクと喪失



「お前は雑だ」と伝えれば、
相手からの好印象を失う。

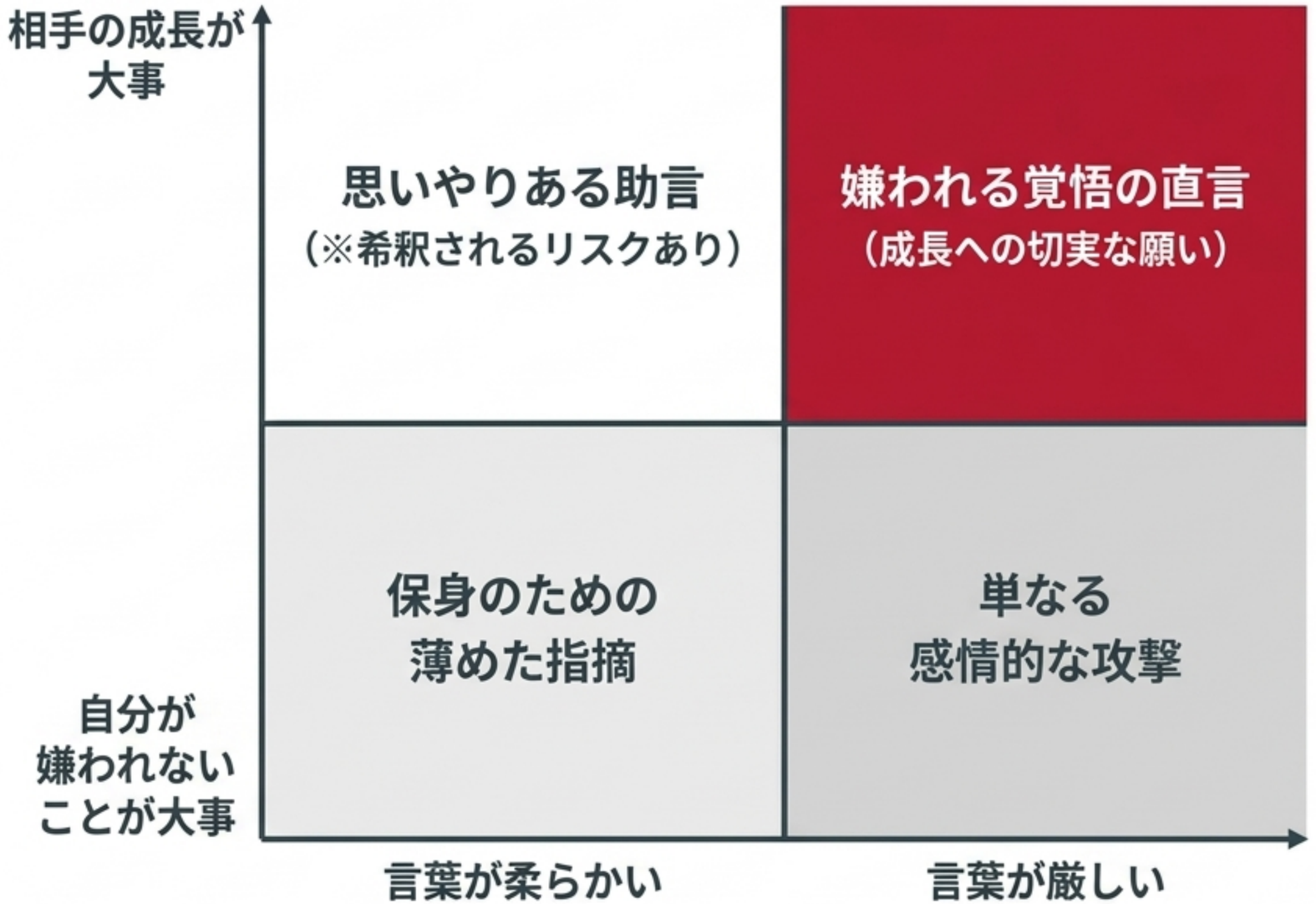
黙っていれば、積み重ねた
良好な関係を守れたかもしれない。

嫌われることは、指導する側にとっても
決して嬉しいことではない。

それでも伝えたのは、なぜか？

Gemini Notebook

言葉の「柔らかさ」と「誠実さ」の罠



柔らかく言えば誠実だとは限らない。自分が嫌われないために、指摘を薄めただけかもしれない。

Gemini Notebook

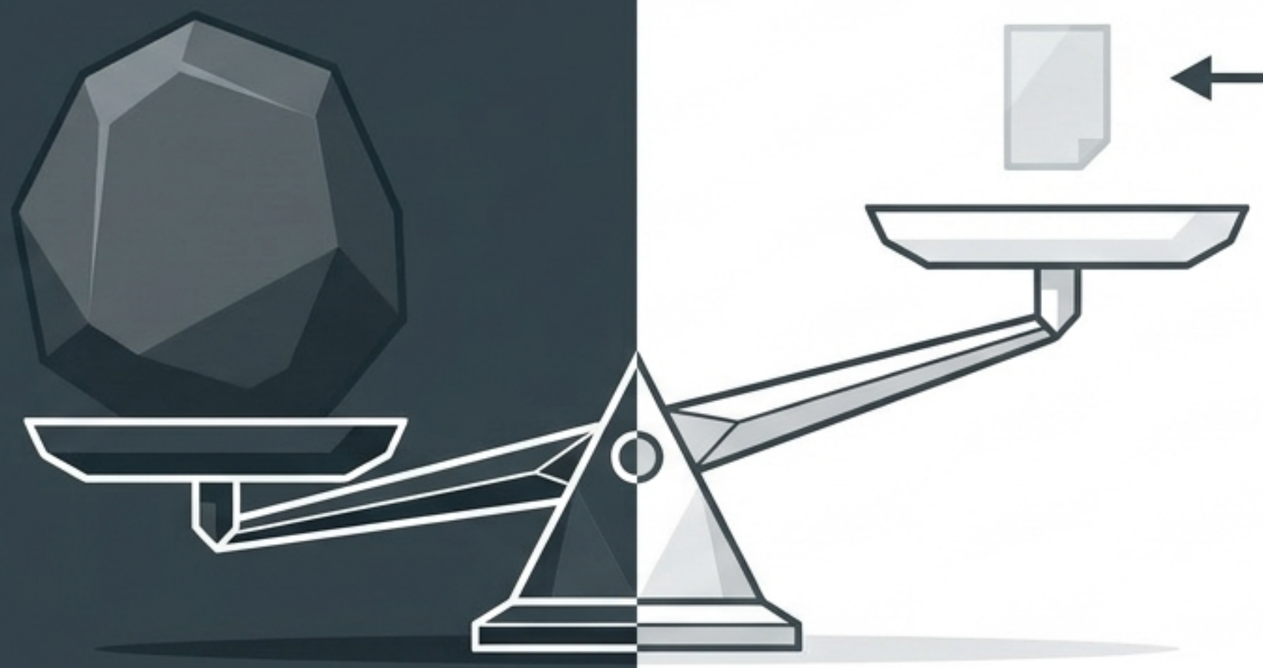
嫌われたいのではない。
好かれたまま、相手の停滞を
見過ごすことができないのだ。

根こそぎ変えなければ、上達は見えてこない。
そこにあるのは、指導する人の「切実さ」である。

Gemini Notebook

最大の「すれ違い」

伝える側：
好印象を失う危険まで引き受けた。



受け取る側：
自己評価を少しも手放そうとしない。

このすれ違いは、あまりにももったいない。

Gemini Notebook

覚悟への応答

耳の痛い言葉に出会ったとき、
「ひどい言い方だ」ですぐに話を閉じてはいけない。

伝える人が、
嫌われる覚悟を
引き受けた。



ならば、受け取る
自分も、今までの自分
変える覚悟で覚悟で
応えたい。

Gemini Notebook

真の「ありがとう」の方程式



指摘したあとも向き合い、変化を見届けようとする関わりがあってこそ、言葉の重みは見えてくる。

Gemini Notebook

その意見で、相手は何を失う覚悟だったのか。

あなたは、何を守ろうとしていたのか。

言葉の奥にある「覚悟」に
気づいたとき、成長の扉が開く。

Insight from PHOENIX愛知

Gemini Notebook